

歩いて、見て、食べて知る、雑木林の恵み

調布の里山・雑木林 体験イベント開催

10/29(日) ちょうふ環境市民懇談会の野外イベントがおこなわれた。例年は市民文化会館たづくりを会場に開いてきたものを、より実際の活動を知っていただく機会にしたいと、野外イベントを企画。一番心配だった天候にも恵まれ50人を超える人たちが、調布の自然を五感で体験した。参加者からは、ぜひ来年も参加したいという声がかかれた。



★体験その2・調布産米を食べる

体験その1・・・そぞろ歩き



国分寺崖線の下にあたる道を歩いて近くの農家へ。



「そぞろ歩き」は、市報をみて参加申し込みをした35人が参加。

ふだん入れない農家の庭先や、武蔵野の雰囲気が残る国分寺崖線沿いのコースを「環境モニター」が案内しました。



★体験その3・クラフト・薪ひろいなど 【次のページに掲載しています。】

調布の自然 植物編 ~ 多摩川植生調査 ~

2005年6月に外来生物法が施行され、外来生物による被害を予防する措置が講じられるようになりました。

国土交通省京浜河川事務所でも多摩川の外来生物の被害及び対策を考えるために、全川での分布状況を知ることが必要なため、地元市民の協力で実施されることになり、調布区間 4.6km の調査を、環境モニターのメンバー3人が協力することになりました。

10/25(日) 狛江市との境付近である六郷排水樋管～多摩川原水橋まで、アレチウリ・オオブタクサ・キクイモの調査を行いました。特に目立ったのはアレチウリで、ところどころでオギなどの上から覆いかぶさるように繁茂し、その旺盛な繁殖

力には驚かされました。

200mごとの記録とGPSと検土杖を使用した記録方法は、多摩川センタースタッフに教りましたが、経年変化を調べるため今後5年10年と毎年や



河原にはびこるアレチウリ

て欲しいとのこと。3人いれば出来る調査ですので、今後も協力して行きたいと思います。
(環境モニター: 鍛冶)

雑木林・里山 体験イベント報告 つづき



木の実をつかってクラフト体験！



梨園のある山越家の敷地で深大寺用水を使っていたころの水路のお話を聞く。

敷地にある大きなアベマキの木。この奥に深大寺用水を使った水車があったが、現在は取り壊されてしまっている。



スタジイの実を拾い、フライパンで炒って食べた。

食材費・クラフト材料費として参加費 500 円を徴収しましたが、少し不足しました。スタッフが残った材料を買い取って清算。

大勢の協力でやり遂げることが出来たのが何よりの収穫でした。

里山の保全

人間樹林の会

11/19(日) 方形枠修理と落ち葉かきなどを予定していましたが 15 日の「国分寺崖線緑地整備」意見交換会で出された市整備案をもとに、散策路の経路や幅・木材使用など構造の問題、散水栓やフェンス等の設置などについて現地をみながら検討しました。NTT 沿いの急坂は、雨が降ると大量の水が流れ土が流失し植生への影響があるので排水をどうするかなど意見交換しました。

散策路のコース上で民家との隣地境界にある防空壕をはじめてみました。ツバキの森では赤いサザンカが咲いているのに気づきました。花の少ない時期の楽しみになるので間伐をして日照を確保していきたい。他にツワブキの黄色の花が目立っていました。(安部)



こんなところに防空壕が。



見上げるとサザンカが咲いて。

市民のうごき 11月

環境モニター

11/4(土)野川の野草観察-スタッフ含め 11 名参加。野川と京王線が交差する所からやや下流の車橋から下流に向かって右土手に降り、次の上り口がある箕輪田橋まで 1km 足らずを 2 時間かけて調査。多摩川と同じくアレチウリが目についた。



アレチウリにからんだアメリカナシカズラの実

園芸植物が目立つ法面



また水辺らしい植物であるカワジシャやガマ、アシも見ることができた。120 種あまりの種名を記入。多摩川より種数が多いような印象を受けた。

箕輪田橋の手前辺りの土手では法面に園芸植物を植えているのが目立ったが、湧水が流れる野川はできるだけ自然を残しておきたい場所。メンバーから「これはやめてほしいわね」の声が上がった。(鍛冶)



調布産の野菜でトン汁づくり

ビールじゃなくてマイクです



たんぼの学校 「守り続ける、佐須の田んぼ」

11/25(土)日は収穫祭。

今年は雨天や機材の不調のために授業のスケジュールが遅れ、残念ながら例年より少ない収穫量となってしまった。生徒の皆さんには毎年卒業レポートを発表してもらっています。去年はゴミや生活排水リサイクル、省エネなどについての意見が多く見られたが、今年の子どもたちは、体験を通してどのように感じたでしょうか。

次代を担う子どもたちに、原体験として「農業」や恵まれた自然にふれる機会を提供できる調布の環境はとても貴重で大切なものです。これからも守り続けていきたいと、毎年この時期に思いを新たにします。

14年前に稲作のお手伝いを始めてから、「たんぼの学校」として市の後援を受けた年から農家の竹内さんや皆さんのご協力でこれまで続けることができました。生徒の皆さんやスタッフを始め、ご協力いただいた方々本当にお疲れ様、ありがとう。

そして12月3日は第6回目の卒行式をむかえますが、たんぼでは次年度に向けて冬期の作業が始まっています。(たんぼの学校 こんどう)



収穫祭のようす



籾摺り(もみすり)作業

市民のうごき 11月

カニ山の会

11/11(土)雨天中止

環境保全課から雑木林塾への協力依頼があり、受講生を迎えてカニ山東樹林の保全活動を体験していただく予定だったが、雨天で活動無しとなった。次回12月は、会のお楽しみ会を実施する。

野川流域連絡会

11/22 18:00~20:00

たづくり12F大会議室

第3期-第1回全体会

生き物分科会と水環境分科会が共同で話し合いを行い、研究部会の設置を承認した。

調布市からは職員2名+市民団体委員1名+都民委員2名が参加している。

(報告:身近な川を見守る会:江刺)

ちょうふ環境市民懇談会・運営会議報告

11/13(月)16:30~21:15 たづくり301会議室

報告事項

・雑木林野外イベントの報告をした

・多摩川の外来種調査 協力依頼が多摩川センター経由であった。環境モニター3人で実施。今後も継続していく。

・深大寺佐須地区のモデル事業検討会

10/26に「調布市環境基本計画重点施策の検討組織に関する要綱が施行され「豊かな緑・水・景観を守り育てるための取組検討会」第1回会議があり、中原氏が会長に選出された。

・雑木林連絡会<第3回>

10/16に実施。若葉町・ドングリ林・凸凹山・カニ山の会が参加。次回予定していた、「生き物との付き合い方、いざというときの対処のしかた」の講習を、3/4の雑木林塾関連のシンポにて行うことになった。団体に通知してほしい。

協議事項

・全体会の開催および今後のありかた

3/4シンポにアピールし、運営委員を選出したい。

総括・課題の整理ができるよう資料をまとめる。たたき台の作成を環境保全課に一任する。

運営委員の選出は3/4ではムリではないか。PRと選出は主旨がちがうのではないか。次回、検討する。

市民活動カレンダー & おしらせ

全ての会でメンバー随時募集中！

環境モニター

12/2(土) 10:00~13:00

集合場所：たづくり1102 学習室

内容：植物図鑑のまとめ

・終了後、昼食を兼ねた懇親会を開きます。

持ち物：図鑑・筆記用具・今までの写真など

市内各地の植物調べと記録を行っています。

問合せ：環境保全課 042-481-7086

カニ山の会

12/9(土) 10:00~12:00

集合場所：深大寺自然広場、野草園横

内容：カニ山キャンプ場にて懇親会

定例活動日：毎月第2土曜に東樹林の保全活動を行っています。参加希望の方は直接集合場所へおいで下さい。(年会費500円+保険料)

問合せ：環境保全課 042-481-7086

若葉町3丁目第3緑地 - 保全活動

12/10(日) 10:00~12:00

集合場所：入間地域福祉センター

内容：雑木林塾と合同での管理作業およびヒサカキで作った名札の配布

第2日曜を活動日としています。

問合せ：緑と公園課 042-481-7083

人間・樹林の会

12月9日(土) 9:30~12:30

内容：児童館との交流事業

12/17(日) 9:30~12:30

内容：お楽しみ会 トン汁ほか

落ち葉かき、まてばしいクッキー

集合場所：いずれも入間地域福祉センター

原則毎月第3日曜に活動しています。

問合せ：環境保全課 042-481-7086

凸凹山公園ワークショップ

- 布田崖線緑地を考える市民の会 -

12月の活動はお休みです。

原則第4日曜に活動しています。

問合せ：緑と公園課：042-481-7081

野川クリーン作戦

12月2日(土) 10:00~11:00

場所 中耕地橋・大橋・中島橋など

内容 地域の住民・事業者・団体等との協働による清掃活動

調布の中央を流れる野川。皆で守っていきましょう。

環境保全課の窓

2001年、21世紀初頭のまちの将来像を「みんながつくる笑顔輝くまち・調布」とする基本構想が策定されました。その背景には、少子高齢化の進行、地球環境問題の顕在化、分権型社会の到来、情報技術革命の進展がありました。時代の変化の中では、国から地方へ、官から民へという大きな潮流が生まれました。

こうした変化を的確にとらえ、柔軟に対応することが求められ、基本構想に併せて01年度~06年度を計画期間とする前期基本計画が策定されました。

そして今、前期の取組成果や課題を整理しながら、07年度~12年度までの6か年を計画期間とする後期基本計画の策定作業が大詰めを迎えています。

厳しい財政状況の下ではありますが、環境保全課では、後期基本計画における環境政策の充実を図り、今年3月に市民参加で策定した「環境基本計画」の推進に全力を傾注していきたいと考えています。(青柳)

会議日程

ちょうふ環境市民懇談会・運営会議

12/11(月) 18:30~20:30

たづくり 301 会議室

内容：環境市民懇談会とは

「全体会」及び来年度運営委員の決定方法。ほか会議にはどなたでも参加できます。

編集後記

人の心がすさんでいるのだろうか。深刻ないじめや不正なお金を平気で使いまわしていた立派?な大人がゾクゾク。自分の都合のいいように当たり前のようにやらせをして恥じない面々。そんなニュースでめげているわけにはいかない。調布の里山や水辺をささっと歩き、く自然と対話しているとすがすがしい心と体がもどってくる。健康にもいい。せつせと動こう!(編集当番:江刺益子)

「ちょうふ環境市民懇談会」は、調布の自然環境を市民・行政・事業者の協働で保全・改善・回復していくために設立されました。2001年から保全活動の交流・支援、人材育成、情報収集・発信、提言などの活動をしています。ぜひご参加ください。

ちょうふ環境市民懇談会

連絡先:調布市環境保全課 tel 042-481-7086

E-mail: kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

~調布市ホームページでカラー版がごらんいただけます~

市公式HP [くらしのガイド](#) 環境 環境学習 自然だより